臨時レポート

2026 年 11 月 20 日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

国内株式市場の動向と今後の見通し
ならびに基準価額の変動に関するお知らせ

《国内株式市場の動向》

11 月 20 日の国内株式市場は、前日の米国株式市場で AI・半導体関連銘柄を中心に下落した流れを引き継ぎ、日経平均株価は前日比 3,007.56 円安（▲5.06％）の 56,436.65 円、TOPIX（東証株価指数）は前日比 148.25 ポイント安（▲3.88％）の 3,674.22 ポイントとなりました。

前日の米国株式市場では、米 AI 開発企業アンソロピック社が上場し、初値は 111.50 ドルと公開価格の 83 ドルを上回りました。一方、アンソロピック株の購入資金を捻出するため、保有する AI・半導体関連銘柄を売却する動きがあったとの観測もあります。こうした中、AI・半導体関連銘柄を中心に売りが広がり、米国の主要株価指数は軒並み 2％超の下落となりました。

本日の国内株式市場は、前日の米国株安を受けて AI・半導体関連銘柄を中心に売りが広がりました。前日に決算を発表した保険業では堅調な業績が示されたものの、それ以外の幅広い銘柄が売られ、日経平均株価は大幅安となりました。

《基準価額の変動状況》

国内株式市場の下落に伴い、以下のファンドが前日比で 5％超の下落となっております。

ファンド名	基準価額（円）	前日比（円）	騰落率（％）
ALAMCO 日経平均ファンド	9,515	▲520	▲5.18
ALAMCO DC日経平均ファンド	66,437	▲3,623	▲5.17

《今後の見通し》

昨日の米国株式市場の下落は、アンソロピック社の上場に伴う需給要因の影響が大きいとみており、来週以降は徐々に落ち着きを取り戻すと考えています。足元では、米国の中間選挙での民主党勝利を受け、AI データセンター建設に対する規制が強化されることが警戒されています。しかし、①AI に対する需要の強さに変化はないとみられること、②他国との競争を考慮すると、AI データセンター建設が全面的に禁止される事態は回避されるとみられることから、足元の悲観論は行き過ぎだと考えています。また、昨日（11 月 19 日）までに発表された国内主要企業の 2026 年 7-9 月期決算では、2026 年度の通期業績予想を上方修正した企業が多く、通期では 10％台半ばの経常増益が見込まれています。しばらくは AI 関連銘柄を中心に値動きの大きい状況が続くとみていますが、市場は徐々に落ち着きを取り戻し、堅調な業績を背景とした中期的な上昇基調に戻るとみています。

※本資料中のいかなる内容も、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2026-11-1319